

元気な学校・園づくり

(平成27年度の幼稚園・学校の取り組み)

教育目標

「豊かでたくましく 生き生きとした子どもの育成」

めざす子ども像

- ・健康な生活習慣を身につけた子ども
- ・命を大切にする子ども
- ・仲間と支えあい、元気に遊ぶ子ども
- ・自分の思いや考えを表現する子ども
- ・見通しを持ち、意欲的に行動できる子ども
- ・困難なことに出会った時、負けないで行動できる子ども

本年では、元気な幼稚園づくりに取り組んでいます。

○研究テーマ

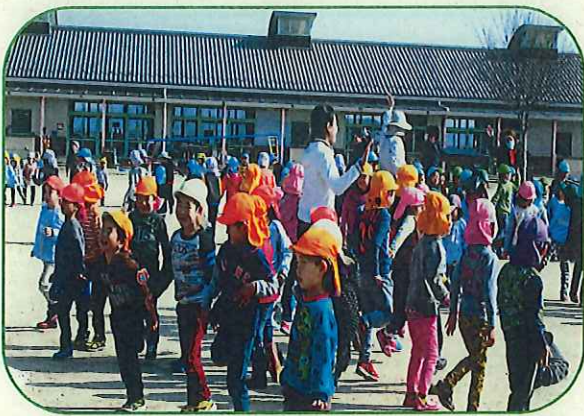
「人と豊かにつながる子どもを育てるために」
～身体を使った遊びを通して～

○概要

今、「子どもたちの体が危ない」といわれ、歩く・走るといった基礎能力や身体諸機能をコントロールする力の育成が求められています。本園は、ほとんどの子どもたちがバス通園や自転車・車での送迎で、歩くことが少なく身のこなしの不器用さや体力の弱さを感じます。

運動遊びを計画的に取り入れ、子どもたちの体づくりを主体に保育を進めています。特に今年度は、昨年度を土台とし、子どもたちが楽しんで身体を動かす質のよい遊びを提供することが大切であると考えています。

体づくりに焦点を当て、遊具の使い方や保育内容を工夫することで自己を十分に発揮し伸び伸びと行動することを通して充実感や満足感を味わうことができると考えています。心と体を十分に働かせて遊ぶことは他者との信頼関係の下で情緒が安定し友だちとのかかわりが広がっていきます。



遊びの基礎基本をおさえることが大切です。



友だちと遊ぶのたのしいな

○子どもの生活は、すべて遊びと言っても

◆遊びが育むもの

【体が育つ】

からだを知る、鍛える、粗大運動、手先等の細かい動き、協調運動、敏しょう性、柔軟性、瞬発力、リズム感、調整力、バランス感覚、など

【知覚が育つ】

色、形、音声、空間関係の知覚、全体と部分の関係の知覚、注目すべきものと背景の弁別、視覚、触覚、聴覚の育ち等

【社会性が育つ】

協調性、自主性、責任感、仲間を作る、維持する、役割の理解、ルール理解、競争心、コミュニケーション力

→学習の準備につながる



- * 3つの面がお互いに関係し、心と体は相互に関連をもち一体となって形成していきます。
- * 様々な経験をし、心身の調和のとれた発達の基礎を培う重要な学びの場が「あそび」です。
- * あそびは、「発達を促す原動力」となるので、質のよい遊びを提供することが大切です。

野洲市立野洲幼稚園



教育目標 たくましさとやさしさをもつ子どもの育成

健康で
たくましい子

毎朝、おひさま広場を
実施し、園児の体の力
を育てる。



自分を
大切にする子

月1回、健康指導の
時間を持ち自分の体
について知る機会を
持つ。



自ら考え
行動する子

主体的、意欲的に活動
できる保育を展開し、
学習の基礎を培う。



みんなと仲良く
遊べる子

年5回、友だち大好き
集会を実施し、互いを
認め合う仲間作りをす
る。



合いことば

語り合い

認め合い

高め合い

子ども集団

自分の言葉で、思ったことや考え
たことを話そう。相手の話を聴
こう。

違いや互いの頑張りを認めよ
う。

主体的、意欲的に活動に取り
組み、互いに刺激し合おう。

職員集団

自分の考えを持ち、日常的に語
り合いながら、自分の考えを
進化させ、互いにわかり合おう。

互いを認め合い良いところを
引き出し合おう。

向上心を持って互いが切磋琢
磨し合おう。

保護者集団

情報交換や悩みを相談し合える
子育て仲間になろう。

価値観や、子育て観の違い
を認め合い信頼関係を築こう。

研修や子育て広場を通して親
としての資質向上に努めよう。

さくらばさま幼稚園(さくらばさまこども園)

教育・保育目標

生きる力の
基礎を育てる

保育園と幼稚園の機能を併せ持った乳幼児保育の一体型施設として、平成26年4月開園しました。

☆からだそだて☆

- *健康でしなやかなからだ作り
- *基本的な生活習慣の確立

☆こころそだて☆

- *五感を使った体験
- *科学的な認識を育てる
- *自分を大事にする心

☆なかまそだて☆

- *互いの思いを出し合う
- *さまざまな人との出会いを通して経験を広げる
- *共同の学びを楽しむ



- ★子ども一人ひとりを大切に、保護者から信頼され、地域に愛される園づくりをめざします。
- ★保育の中では、子どもたちの将来を見据え、生きる力につながる『体験』『人とのかかわり』『発達に即した遊び』を大事にしています。
- ★子どもたちの意欲、やる気を引き出し、自主・自立の力を育てていきます。

みんなで遊ぶの楽しいな!
遊びを通してルールや決まりも学ぶ



みんなで作る
みんなで食べる

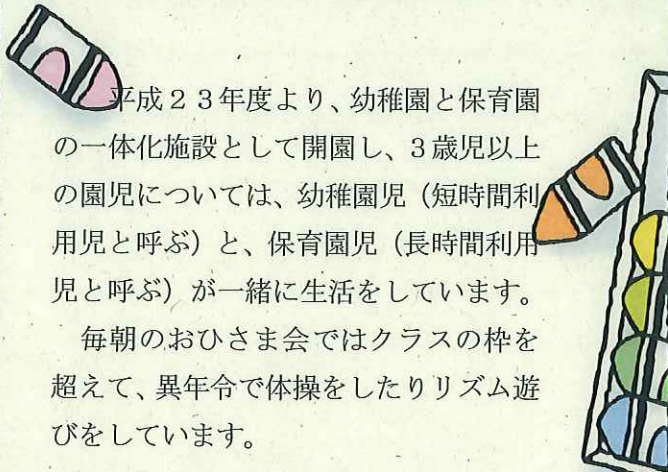


篠原幼稚園(篠原こども園)

教育目標

心身共に健康で温かい心をもった子どもの育成

～自分がすき・友だちがすき・自然がすき～



平成23年度より、幼稚園と保育園の一体化施設として開園し、3歳児以上の園児については、幼稚園児(短時間利用児と呼ぶ)と、保育園児(長時間利用児と呼ぶ)と一緒に生活をしています。

毎朝のおひさま会ではクラスの枠を超えて、異年令で体操をしたりリズム遊びをしています。

園の周辺には自然がたくさんあります。夕日が丘・長島神社・篠原小学校近辺など、園外に散歩に出かけることをできるだけたくさん取り入れています。

5歳児



同学年による活動では、仲間意識を培ったり、お互いに刺激を受けながら切磋琢磨していきます。特に5歳児は行事での活躍も大きく主体的な活動が期待されます。

地域の人や自然とのふれあいを通し、人とかかわる喜びや人と環境のつながりについて知り、たくさんの人たちから見守られていることの安心感を得て、子どもたちに豊かな心と感性をはぐくんでいきます。

5歳児



地域のサービス施設で、お年寄りとのふれあい交流

篠原小学校5年生と一緒に、篠原餅の種まき・田植え・稲刈り・脱穀・餅つき

4歳児



三上幼稚園

《教育目標》

心豊かでたくましい子ども

自分で考えやりぬく子ども

みんなと仲良く遊ぶ子ども

健康で明るく、たくましい子ども



幼稚園の前の川で生き物探し。小さな生き物を見つけます。



三上山の頂上めぐりしてがんばります。



毎朝、幼稚園のみんなで体操やリズムをしているよ！

健康な身体づくり

運動遊び・リズム遊び・園外保育等
 *体操・ダンス、身体をいっぱい動かして遊ぶの大好き！！
 *できた！！ おもしろい！
 *できるかな やってみよう
 こんなこともできるよ！



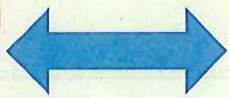
友だちと一緒に大きな山や川を作り、力を合わせたり、役割分担したり等遊びの中でたくさんの経験していきます。

豊かな心づくり

毎月の誕生会や地域の人や自然とのふれあい、地域にある悠紀の里、びわこ学園の方との交流等
 *いろいろな人とかかわり、まわりの自然と遊ぶこと大好き！
 *みかみ 大好き！

認め合える仲間づくり

友だちとかかわる楽しさを感じてほしいクラス活動や異年齢交流
 *友だちのこんなところが好き！
 *ねえ、きいて！ 一緒だね！
 *見てみて！私もできるかな



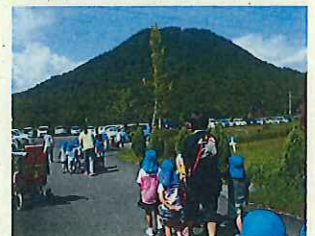
地域の人に田植えを教えてください。田んぼに入って苗を植えるのは初めて。秋には稲刈りも体験します。



三上山登山口駐車場付近の広場に何回も出かけ、遊びました。近辺に出かけ、たくさんの自然物を見つけます。



地域の人にきていただいて「もちつき」をしたり、「たで寿司」や桜っこ味噌を使った味噌汁を作っていたりします。



地域の福祉施設びわこ学園・悠紀の里の方との交流を通して、いろいろな方がいることを知り、かかわり方を学んでいます。

” 祇王を愛する心豊かな子どもの育成 ”

野州市立祇王幼稚園

めざす子ども像

- ◎ 丈夫な子・・・しっかり食べ、身体を使ってよく遊ぶ子ども
- ◎ やさしい子・・・人とかかわることが好きで、人を思いやろうとする子ども
- ◎ 考える子・・・工夫して遊び、自分で考え、行動しようとする子ども



広伸体操をしているところ

(足の指の間に手の指を入れ、そらしたりまわしたりします)

からだづくり

年間を通して体操やマラソン、サッカーなどのボールあそび、わらべうた遊びや運動遊具でのあそびなど、いっぱい身体を動かしています。また足育にも取り組み、全園児の足型を年2回記録しました。研修会でその足型を見ながら、身体を支える足の大切さを保護者と一緒に確認しました。

こころづくり

一人ひとりの誕生日を祝い、命の大切さを感じたり、自尊感情を育みます。地域の人や自然とのふれあいで、わくわくするあそびをたくさん体験していき、子どもたちに豊かな心と感性を育てていきます。



おじいちゃん、おばあちゃんとふれあいあそびをしたよ

なかまづくり

様々な活動・体験を通して友だちと関わる楽しさが感じ、自分も友だちも大好きに思う気持ちを育みます。また人権集会（にここ集会）では外国籍の保護者の方に講師としてきていただき、いろいろな国のことばや文化があることを身近に感じられるような機会をもっています。



にここ集会でポルトガル語やブラジルの文化を教してもらいました

こころ・からだ・なかまをつくる

野洲市立北野幼稚園

教育目標

「心豊かでたくましい子どもの育成」

- 明るく元気な子・・・しなやかな心と体を作る。
- よく見、よく考えて、自分で行動する子・・・自ら、判断し、行動する。
創意工夫しながら主体的に遊ぶ。
- ともだちと共感できる子・・・人との関わりを喜ぶ。人を思い合うやさしさがある。
- 豊かに感じる心をもつ子・・・悲しい、うれしい、楽しいなど素直に感じた心を表出できる。

楽しみながら、繰り返し身体を動かす遊びの環境構成や援助を行うことで、子どもたちの体力がつくこと・身体を通して相手とリズムを合わせることや、相手に身体に沿わせること・ルールをつくり、守り、共有することで柔軟な身体や思考の基礎が育つことを願っています。思いきり遊び込む中で「お友だちと一緒に楽しい」と身体を通して感じる体験を豊かに積むことが、大切であると考えます。

地域の自然に触れて遊び、五感を通した心揺さぶられる感動体験を盛り込んでいます。

- ☆ **なかよし集会**・・・「人権尊重」と「環境保全」をテーマに劇や絵本の集会
- ☆ **食育活動**・・・野菜栽培と収穫、料理と会食（カレー、おでん、もちつき）
- ☆ **おひさまひろば**・・・全園児が集まって体操、ダンス、集団あそび
- ☆ **げんきっこひろば**・・・しなやかな身体づくり、感覚統合
- ☆ **おうちの人と一緒にふれあい活動**・・・鉄棒教室、カプラ教室、てくてくデー実施
- ☆ **園外保育**・・・五之里公園、希望が丘公園、生和神社、弥生の森、森林センター、三上山登山、凧揚げ（北野小学校運動場）



1. 平成27年度 中主小学校全体構想

◆めざす学校像 (元氣な学校づくり)
『地域に信頼と安心を与える学校』
・学校と地域、家庭と連携し、「育てたい子ども像」を具現化していく学校
・子ども、教師、保護者が元氣な学校
・地域と共に歩む学校

◆平成27年度学校経営上の課題
家庭との連携による学習習慣の確立 (早寝、早起き、朝ご飯に家庭学習)
挨拶、学習中のきまり等、当たり前のことが当たり前にできる生活指導の強化 (マナー、ルールは守って当たり前)
温かい人間関係を築こうとする言葉遣いや態度の指導 (思いやり、心や規範意識等の社会性)
学力向上への授業改善等と工夫の充実
特別支援教育、特別支援理解教育の充実 (巡回相談員、心のオアシス相談員、特別支援コーディネーター加配等の活用)
家庭・地域との連携

◆育てたい子ども像の共有
(学校・家庭・地域がつながる)
・学校参観や懇談会の開催
・学校からの情報発信 (学校だより、HP等)
・地域力を学校へ (学校評議員、学校応援団、スクールガード等)
・保育所、幼稚園、中学校等関係機関との連携強化
・小中一貫教育の推進

◆めざす教師像 (教職員の姿勢)
「元氣な教師」
・子どもを多面的に理解する。
・子どもが育つ授業のできる教師 (授業改善に努め、資質向上を図る。)
・信頼される教師 (教育愛に溢れ、子どもの信頼を得る。)
・基本を徹底・継続する教師 (繰り返し指導し、凡事を徹底する。)

心豊かで、たくましい実践力のある中主っ子の育成

学校教育目標

かんがえる子 (知)	やさしい子 (徳)	げんきな子 (体)
主体的で、創造的な知性豊かな子ども (勉強にはげむ)	協調性、人間愛、豊かな感性をもつ子ども (心をみがく)	強い意志、忍耐力、たくましい活力のある子ども (体をきたえる)
思考、創造のたくましさ	心情、徳性のたくましさ	気力、体力のたくましさ

育てたい子ども像の具体

④ 中主を誇り、伝統を大切に中主っ子 (地域・先人・家族・伝統・歴史)
⑤ 「うそ」や「いじめ」を見逃さない中主っ子 (きまり・責任・善悪・正直)
⑥ 強い心でねばり強くがんばる中主っ子 (集中・挑戦・忍耐・継続・気力)

⑦ 夢と未来に向かって考え、努力する中主っ子 (夢・目標・思考・創造・体力)
⑧ 進んで自然やいのち、人権を大切に中主っ子 (いのち・人権・自然・思いやり)
⑨ 心を込めてしっかり伝える中主っ子 (挨拶・感謝・反省・礼儀・言葉づかい)

まなびプロジェクト
・学習スタンダードの確立 (家庭学習・学習規律…)
・のびっこ・スキルアップタイムの充実
・校内研究の充実
・読書活動の充実
・体力向上の取組
基礎学力の充実・家庭学習 (確かな学力・生きる力)

こころプロジェクト
・相手を思いやる温かい言葉づかいやふれあいの心
・当たり前のことを当たり前にする強い意志 (いのち)「人権」を大切に
温かく正しい言葉づかい (豊かな心)

マナープロジェクト
・あいさつ、あとしまつ等のマナー意識の徹底
・学校や社会のルールを守る
自己指導力の育成
マナー・ルールへの徹底 (健全な心)

平成27年度の取り組みの重点
「マナー…ルールが身についている子」
「正しい言葉づかいのできる子」
「自学自勉 (家庭学習等)のできる子」

【元氣な学校の創造】

○学ぶ … 我が校の3つのチャレンジ
○育つ … 年間読書児童ひとり30%アップ・全国学力調査5ポイントアップ
○伸びる … 支持的・親和的学級集団 (仲間)づくり [自尊感情の高揚]
… 体力向上の取組 (素間遊び、マラソン大会の復活)

520-2423 滋賀県野洲市西河原712番地 TEL 077-589-2012 FAX 077-589-2025

平成27年度 学校教育の指針 (県教委) 基本目標
「未来を拓く心豊かでたくましい人づくり」
～学び合い支え合う「共に育つ」滋賀の教育

平成27年度 野洲市の教育方針
元氣な学校・園の創造
安全、安心の教育環境と子ども居場所づくり
人権を尊重するまちづくり
生涯学習と生涯スポーツの充実
文化遺産の継承と豊かな文化の創造

【特色ある教育活動】

◆学力向上
基礎学力の充実を図る
・のびっこタイム・スキルアップタイム充実
・学習習慣の確立 (家庭学習推進、学習規律確立)
・読書活動の充実
・きめ細かな学習指導
・校内研究の充実
・体力向上の取組

◆生活力向上
自己指導力を磨く
生活習慣 (挨拶、後始末…) や社会性 (思いやり、規範意識等)を身につける取組
温かい人間関係を築く (5S交流、きょうだい学級遊び、中主っ子プロジェクト、仲よし学級とのクラス間交流…)

◆地域に学ぶ・地域を学ぶ
自分の町を「好き」と言える
・読みがたりボランティア
・まちたんけん
・中主のステキ
・田んぼの学校
・ヨシ苗植え
・夢をかかえる学習など

1. 学校経営管理全体計画(構想)

校訓

ほのかわれど
灯消えし
條の原

子ども姿からの教育課題

- ① 素朴でまじめな面が多く見られるが、積極的に自分
で考え、判断し、豊かな表現をもたせて、行動し
ていく力を一層身に付けていく。
- ② 心がふれあう温かい思いやりや心の温かさを、
とすると一面的、自己本位的な思いやりや行動に陥り
やすいので、相手のことを思い、考え、行動できる
実行力を身に付けていく。
- ③ 何事も一生懸命に取り組みが、個性的に発想し、成
功するまで諦めずに取り組んでいく姿勢を身に付
けていく。

家庭・地域の教育力との連携・協力

- <家庭>
 - ① 育てたい子どもの姿の共有
 - ② 規則正しい学習習慣・生活習慣の確立
 - ③ 保護者対象とした外部評価からの理解と支援
 - ④ 多くの学習活動等の学校公開への呼びかけに参加
 - ⑤ P.T.A.活動との連携
- <地域>
 - ① 地域の人や自然・社会施設の活用への理解と協力
 - ② 保・幼・小・中・高等の教育的連携
 - ③ 学校評議員会の設置と評議
 - ④ 藤原町同意会との連携

我が校の3つの挑戦

- ① まなび
- ② ここらた
- ③ からた

算数科を窓口授業改善... 算数科単元評価テスト(数学的思考)で平均80点以上を目指す
学年末子ども振り返り「学校が楽しい」という子が100パーセントに近づく(楽しくない0)
10分間運動... 体力テストで県平均以上をめざす運動の取り組み

学び続ける教職員
教育に対して強い情熱がある
専門家として確かな力量がある
総合的な人間力がある

重点実践目標実現への具体的な経営目標

- 高めよう子ども、状況判断力
- トータルを自分たちで解決する力をつける
- 考えたことを説明する力をつける
- 相手の気持ちを考えて考える力をつける

学校教育目標

「いっしょが楽しい」学級・学年・学校
～ なかまと支え合い 学び合い 伝え合う! ～
<合い言葉> 「好きです、藤原」

【めざす子ども姿と重点目標】

- * 学び合う かんがえる子
- * 支え合う やさしい子
- * 伝え合う パスをつくす子
- 【重点実践目標】... まなび・こころ(なから)からだ
- ① 「めざす子ども姿」を想定しながら、「わが校の学力向上策」をもとに、生涯にわたる学習習
慣・生活習慣にかかわる基礎基本の力を育てる。(授業力)
* 知りたがるという知的好奇心を刺激し、考えて見出す授業を展開する。(知的好奇心)
* 自分の考えや思いを説明できる子どもを育てる。(説明力)
* 本に親しむ子どもを育て、内容を読み取れるよう指導する。(読解力)
* 家庭学習の手引きを活用し、家庭での学習習慣を身につける。(家庭学習力)
- ② 道徳教育の体験的実践、人権・同和教育の実践を通して「命・人権を大切に、支え合う集団
づくり」を実現する。(協働)
* 「あなただけが大切な」と言える集団づくりといじめをなくす生徒指導を行う。
* 自尊感情を育てて互いを認め合う関係を築ける道徳の実践を行う。
* 野洲市共通教材・部活問題学習で偏見や差別に気づける人権・同和教育を行う。
* 特別支援学校等との交流等を通じた特別支援教育の推進を行う。
- ③ 運動する楽しさを実感し、自ら運動する意識を高める。(体力)
* 1日1.0分間運動や体育科の授業改善を推進し、体力の向上を図る。(体力)
* 健やかな体と豊かな心の育成を図る保健指導を行う。
* 基本的な食生活の定着を図る。
- ④ 地域の自然や施設、ゲストティーチャーを活用した体験学習を積極的に取り入れ、自ら問題を
持ち、友だちとともに考え、解決していく「生きる力」を育てる。
* 地域の自然や施設の教材化(環境教育)とゲストティーチャーの積極的開発と情報の
蓄積を図る。(昔遊び...1年、作図体験...2,4,6年、農業体験3,5年)
* 子どもが充実感を得られる体験学習を実施する。
- ⑤ 地域・保護者と連携した火災・地震・不審者等から子どもたちを守る、安全感・安心感のある
学習・生活環境の充実をさせる。
* 避難訓練・安全点検(消書き点検を含む)をはじめとした安全教育の実施する。
* 安全リーダーををはじめとした地域との日常的な情報交換と連携する。
* 参観日や学校評価等を通して教育推進状況を子ども・教師の姿から紹介する。

社会からの学校教育への要請課題

- ① 確かな学力の定着(学力)
- ... 特別支援と授業改善による学力の向上
- ② 豊かな心の育成(道徳)
- ... 差別・いじめを許さず、命・人権を大切にし、
個性を認め思いやりのある心の育成
- ③ 健やかな体を育む(体力)
- ... 体力の向上と健康の保持増進
- ④ 保護者や地域に信頼される学校(地域)
- ... 開かれた学校として、教職員組織の充実、
安全・安心な学校づくりの推進
- ⑤ 教職員の資質向上(教師力)
- ... 専門性や指導力、人間性を含めての資質向上

重点目標達成のための主な組織の充実

- ☆ 子どもを語る会推進委員会 (いじめ防止対策委員会)
(生活指導、教育相談、特別支援、保健活動) ... 原則として、毎月1回及臨時開催
- ① 特別支援教育にかかわる指導の充実
- ② 課題を持つ子どもたちとの把握と、把握と指導
③ 個別指導にかかわる子どもたちの把握と指導方法の交流
- ④ いじめの実態調査・生活実態の把握と指導方法の交流
- * 毎月1回の子どもの語る会、こころのつらさを、子どもは変わった!
という情報交流と指導の方向を見いだす。
* 教育相談・生徒指導・特別支援・教職員担当をリンクさせながら子
どもたちにあった教育実践の交流と指導方向を見いだす。

- ☆ 人権・同和教育推進委員会(人権・同和法を中心として臨時開催)
- ① 共通教材や6教科の指導の実践的指導への取り組み
- ② 校内における教職員の人権・同和問題研修の実施
- ③ P.T.A.等への人権・同和研修への積極的な関わり
- ④ 差別事件発生におけるマニユアルの理解と行動化へ
の実践的研修

- ☆ 校内研究推進委員会... 研究推進委員長を中心として臨時開催
- ① 算数科を窓口、基礎学力の充実に図る。
- ② 講座研修などで得てきたことの情報交流
- ☆ 学校安全対策委員会... 管理科・関係者・外部等を含んで臨時開催
- ① 危機管理マニュアルの徹底と保護者・地域への情報
の提供
- ② 地震やP.T.A.各種団体との連携に立つ不審者等へ
の対応の研修や実践的訓練

平成27年度 祇王小学校の教育

祇王小学校は、夢いっぱい 元気いっぱい、笑顔いっぱいの子どもの育成をめざして、アルマジロ運動を核にした特色ある教育活動を展開します。

また、学校応援団、妓王まちづくり推進協議会等の支援をいただきながら、地域ぐるみの子育てを進めていきます。

学力向上アプローチ事業「学び合う楽しい算数科の授業」(3年次)を進め、学ぶ力の向上を図ります。

挑戦1

夢

確かな学びづくり

祇王の自然、文化、歴史、人材を活用した、「本物から学ぶ」・「体験を通じて学ぶ」教育を進めます。

アルマジロ運動

挑戦2

元気

たくましい心と体

自らすすんで心と体を鍛える子どもを育てます。

- ・アルマジロ運動の地域啓発と充実
- ・10分間運動の試行(健やかタイム)

- ◎あいさつをすすんでしよう
- ◎ルールを守ろう
- ◎まっすぐ靴・スリッパをそろえよう
- ◎じかんを守ろう
- ◎ろうかは右側を歩こう

挑戦3

笑顔

心豊かな仲間づくり

「ふわふわ言葉」いっぱいの学級、学年、学校をめざします。

- ・「ありがとう」「ごめんなさい」
- ・ていねいな言葉づかい

学校教育目標

夢いっぱい 元気いっぱい 笑顔いっぱいの祇王っ子

～ 夢をもち 仲間とともにがんばる たくましい子どもの育成 ～

学社連携・学校支援・共同学校



学校応援団



子ども体験教室

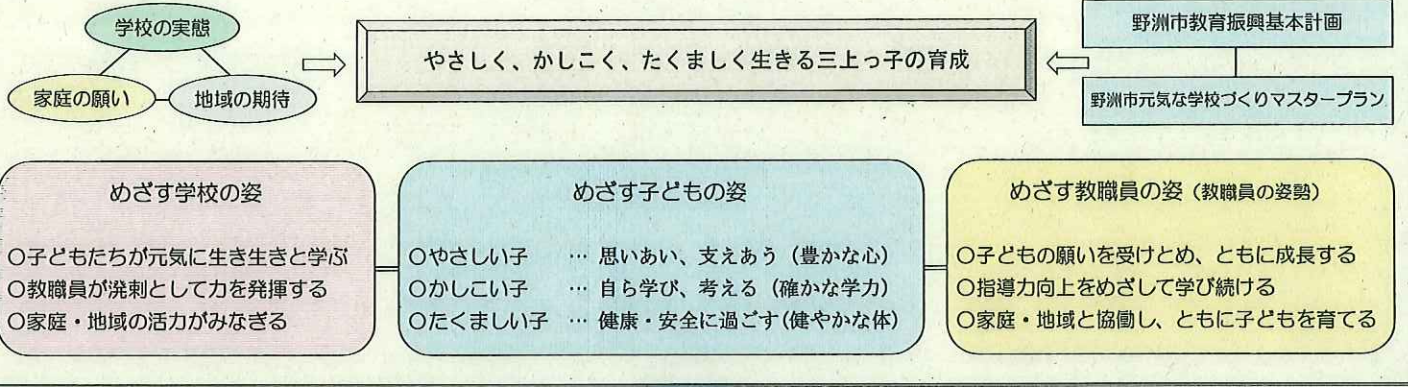


スクールガード



妓王まちづくり推進協議会

学校教育目標



本年度の重点目標と具体的方策



【第1チャレンジ】
◎「道徳の時間、進んで考えを発表する子ども」の割合を80%以上に
(昨年度比+1.4%以上)

重点目標

- 道徳教育の充実を図り、規範意識や互いを思いあう心を育む
- 郷土に学ぶ体験活動を推進し、郷土愛と地域社会の一員としての自覚を高める
- 子どもたちの人権感覚を養い、いじめや差別を許さない集団づくりを進める

具体的方策

- ①全教職員の参画による道徳の時間の推進
- ②「私たちの道徳」の一層の活用
- ③地域の人・自然・文化に学ぶ時間の充実
- ④障害理解教育の推進
- ⑤「ストップいじめ学習」の充実
- ⑥児童会活動の活性化 … 委員会活動等

【第2チャレンジ】
◎「授業中、話をしっかりと聞き、進んで勉強に取り組む子ども」の割合を80%以上に
(昨年度比+1.4%以上)

重点目標

- 「よく分かる授業」を展開するとともに、基礎・基本的な知識・技能の習得を図る
- 言語活動の充実を図り、思考力・判断力・表現力等を育成する
- 望ましい学びの姿勢や態度を育てるとともに、学習習慣の確立を図る

具体的方策

- ⑦ICT機器による授業改善
- ⑧教育的ニーズに応じた学習指導の推進
- ⑨思いや考えを深める言語活動の推進
- ⑩読書環境の整備と読書活動の強化
- ⑪学習態度の育成 … 「学習の心得」の徹底
- ⑫家庭学習の推進 … 新ガイドブックの活用

【第3チャレンジ】
◎「体育の時間や休み時間、元気に運動に取り組む子ども」の割合を95%以上に
(昨年度比+7%以上)

重点目標

- 体力づくりの充実を図り、進んで運動に親しむ資質や能力を育てる
- 安全教育・防災教育を推進し、自ら命を守る力を培う
- 食育の一層の充実を図るとともに、望ましい生活リズムの定着を図る

具体的方策

- ⑬業間運動の充実 … 体力アップタイム
- ⑭群れ遊びの推進 … ロング昼休み
- ⑮登下校指導の強化
- ⑯消防との協働による防災教育の充実
- ⑰給食指導の徹底 … 給食時のルール
- ⑱「早寝・早起き・朝ごはん」の奨励

プロジェクトチーム

○こころ プロジェクト
【ミッション 豊かな心の育成】

○まなび プロジェクト
【ミッション 確かな学力の向上】

○すこやか プロジェクト
【ミッション 健康で安全な生活の確立】

サポートチーム

校内委員会

校内研究チーム

- ◇経営 サポート【ミッション 教育活動の推進支援】
- ◇渉外 サポート【ミッション 家庭・地域との連携】
- ◇事務 サポート【ミッション 適正・円滑な事務処理】

- *コア委員会
- ◇特別支援教育【ミッション 教育的ニーズに応じた支援】
 - ◇少人数指導【ミッション 個に応じたきめ細かな指導】
 - ◇OJT推進【ミッション 教職員の資質・能力の向上】

- 【テーマ 言語活動を通じて自分の思いや考えを深める子どもの育成】
- ◇授業研究グループ ◇言語環境グループ

学校教育目標

わたし ひと まち 大すき 野洲っ子

- 1、わたし大すき（自尊感情の育成）
- 2、ひと大すき（人間関係づくり＝なかまづくり）
- 3、まち大すき（地域学習＝郷土愛の育成）

情報発信

(5)連携

- ・家庭、保護者
- ・地域、関係機関

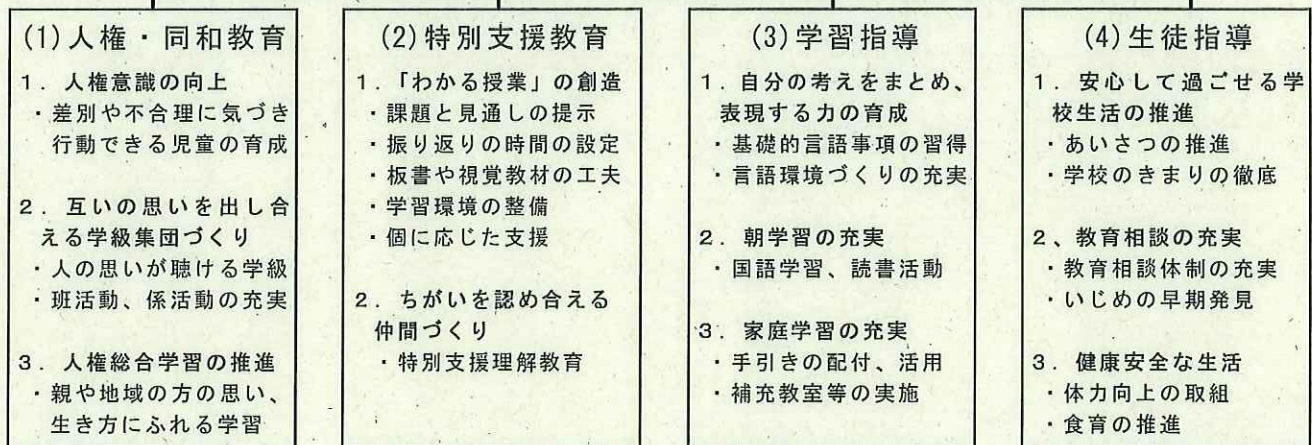
参加協力

将来の生活の基盤となる「生きる力」育てる（進路保障）
～特にしんどい状況の児童を中心に取り組み、それをすべての児童につなげる～

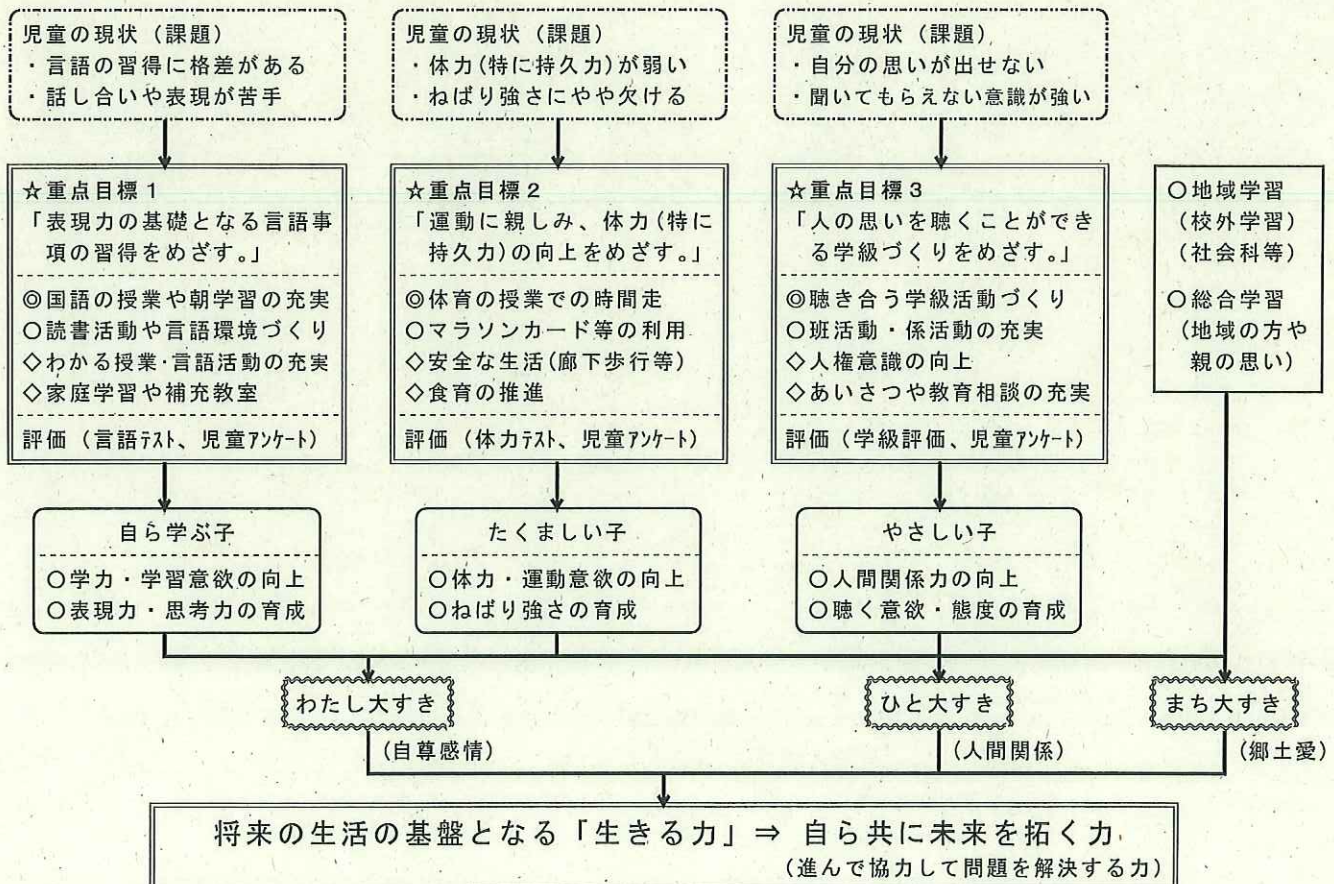
自ら学ぶ子

たくましい子

やさしい子



学校経営方針②（重点実践計画）



【学校教育目標】

「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」を進んで言える北野っ子

【スローガン】

あきらめず いまを大切に あいさつと ルールを守ろう！

【3つの教育到達目標&3つのチャレンジ】

- ①「おはよう」「おはようございます」と言える子 (挨拶)
 - ②「ありがとう」「ありがとうございました」と言える子 (感謝)
 - ③「ごめん」「ごめんなさい」と言える子 (素直・勇気・責任)
- (◎人として大切にしたいこと)

◎教育活動で育てたいこと (授業場面や生活場面で)

- ① もっと知りたいと学ぶ意欲を育てよう！ → (知的な好奇心)
- ② 思考をめぐらしじっくり考えさせよう！ → (思考判断力)
- ③ 自分のことは自分できるようにさせよう！ → (自立)

◎学年部で意識させたいこと

- 低学年 … 学習リズムと生活リズムを意識させる
- 中学年 … 今しなければならぬことを意識させる
- 高学年 … 次のことを考えた上で今すべきことを意識させる

「おはよう」「ありがとう」「ごめんなさい」を進んで言える子をめざして
学年・学級経営

- 見出そう 一日一度は、全員の笑顔が見える授業を
- 見出そう 一日一度は、子どもたちとふれあう時間を
- 見出そう 一日一度は、教材研究の時間を

めざそう教師力・危機管理能力

- 子どもを指導する力を高める
- 子どもを理解する力を深める
- 保護者に対応する力を身につける

高めよう子ども集団・状況判断力

- トラブルを解決する力をつける
- 考えたことを説明する力をつける
- 本や人の心を読み取る力をつける

<重点目標>～北野、野洲、滋賀、近畿、日本、アジア、世界を意識する～

- ①「いのち」「人権」…不合理に声をあげる
- ②「居場所づくり」…あなたが大切
- ③「知的な好奇心」を育てる授業、説明力、読解力…いっしょが実感
- ④「健康と安全」…身体は資源
- ⑤「協働」安全安心な学校づくり…危機管理、地域の中の学校→世界へ

教育目標 知・徳・体の調和のとれた心豊かな生徒の育成めざす学校像

校訓「質実剛健」の校風のもと、社会的自立を目指し、
心豊かでたくましく生きる生徒の育成に努める。

- あらゆる場面で切磋琢磨する学校づくり
- 学力の向上、主体的な学びの姿勢づくり
- 社会的自立に向けた意欲や態度づくり
- 規範意識の向上、認め合う人間関係づくり

教職員の姿勢

- 生徒が生き方を考えられる、**わかる授業を実践する**教師
- 信念をもち、自己の高まりを求め、**共に歩む**教師
- 生徒にしっかり向き合い、**認めて伸ばす**教師
- 冷静な姿勢・温かな言葉で生徒に**寄り添い導く**教師
- 命・人権・法を大切にし、自己研鑽に努め**信頼される**教師

めざす生徒像

- 知る喜びを持つ生徒
- 思考する生徒
- 感動する心を持つ生徒
- 思いやりのある生徒
- 自らを鍛える生徒

本年度の挑戦課題

- ◎小中一貫教育の検討
学習・生活・家庭の教育力
- ◎活用力を高める授業改善
言語活動・グループ学習
- ◎キャリア教育の推進
将来の生き方に繋がる学習

本年度の重点目標と具体的方策重点目標 1 確かな学力の育成

- 学習指導における学習規律の徹底ときめ細かな学習指導・家庭での学習習慣の確立に努める。**
- 各教科において言語活動の充実を図り、思考力・表現力・判断力の育成に努める。
- 互いが学び合う意識を高めあえる**グループ学習の活用と、探求的学習の改善に努める。**

《方策 ①各教科研究授業→2回実施 ②学びのルール徹底 ③学力補充ゼミ講座 30回》

重点目標 2 豊かな心とたくましく生きる力の育成

- 命・人権を大切にする指導や道徳教育を推進し、生徒の思いやりの心を育て、日常生活の中で差別やいじめを許さない実践的態度を育成する。
- 規範意識や基本的生活習慣の確立をめざし、互いに認め合う人間関係づくりに努め、自己指導力の育成を図る。
- キャリア教育を重点におき、体験的な活動を通して職業観・勤労観を育成し、主体的に自己の生き方を考え進路を選択・決定し、自己実現ができる力を育成する。

《方策 ①いじめ0宣言 アンケート3回実施 ②「道徳」保護者公開年3回 ③教育相談の充実》

重点目標 3 地域と連携し、信頼される安全・安心な学校づくり

- 地域との連携を図り、地域や学校安全にかかる防災教育を実施し安全・安心な学校づくりに努める。
- 地域の自然や環境を大切にし、地域に誇りを持ち生活できる意識を高める。
- 学校評価の実施により地域や生徒の実態を的確に捉え、創意ある教育活動を推進し、学校情報を発信し、生徒・保護者・地域の信頼に応える教育を推進する。

《方策 ①地域貢献活動 年1回以上 ②学校安全防災活動 学期1回 ③学校応援団活動の実施》

【めざす生徒像】

知性や感性を磨きあう生徒
仲間と協力しあえる生徒
たくましい意志と体力を育てあう生徒

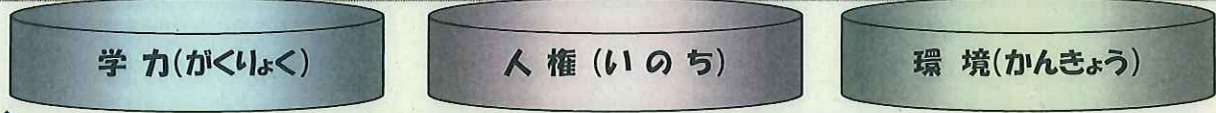
【学校教育目標】
心豊かでたくましい生徒の育成

【校訓】 知 仁 勇 体
(知性) (共感) (勇氣) (体力)

【今年度の重点目標】
どの生徒も安心してすごせる学校づくり
- 「反差別」をつらぬく学校・学級づくり -

【本校教師の姿勢】

生徒の生活背景や思いを共感的に理解する教師
生徒と共に活動する教師
保護者とつながる教師



挑戦1 人権尊重の風土づくり

⇒ いじめや差別のない人権尊重の風土を築くため、全職員による落書き点検や、校内パトロール、また、個別支援、生徒支援の活性化、仲間づくり、人権教育を推進する！

挑戦2 英語力の向上

⇒ 2年英語科で各学級をさらに2分割し、16人程度のきめ細かな「少人数指導」を、年間を通して展開し、英語力の向上をめざす！

挑戦3 生徒会・部活動の活性化

⇒ 生徒会活動をさらに活性化し、生徒中心の行事や活動、取り組みを推進する。また、部活動においても、自律した活動になるように指導する！

重点

- わかる授業の創造
- 生徒指導の強化・充実
- 人権教育の充実
- 特別支援教育の充実
- 道徳教育の充実

- 全クラス少人数学級編制(35人以下)の実施
- 関係機関と連携し、自己調整力の育成
- 特設人権教育の継続と差別をなくす実践力の育成
- 個の特性に応じた教育の展開
- 生き方にかかわる道徳教育・キャリア教育の推進

● 全学級少人数編制

● 基礎学習の定着

● 補充学習と朝読書の継続

● 授業研究の活性化

● 人権総合学習の確立

● 人権学習の検討と推進

● 社会科部会との連携

● 学級集団づくり

● 3学年縦割り集団の取組

● 行事を生徒中心に

● 生徒会活動の活性化

● 年間2回の教育相談期間を設定

● 個別指導計画、支援計画の策定と活用

● 関係機関との連携の充実

④ 教職員による自己評価と組織評価の実施

③ 保護者からの回答の考察

② 保護者からの「学校教育アンケート」の回答

① 学校評議員による学校評価項目の立案

【合い言葉】

生徒のみせる姿
学力調査の実施

つなぐ・つながる野洲中に!

自己教育力
思考力

生徒の姿と育成する力
生きる力
判断力

豊かでありたい心
表現力

【重点目標と具体的方策】

確かな学力と自ら生き抜くことのできる力と心の育成

- ・少人数学習編制を活かした学習指導(1クラス35人以下)
- ・少人数指導による学習指導
- ・基本的な生活習慣、主体的な学習習慣の定着
- ・我が校の「学力向上プラン」の改善 → challenge1「ワーク授業づくり」
- ・読書活動、繰り返し学習の実施

市学力・学習状況調査の活用
全国学力・学習状況調査の活用
体験学習の充実
(福祉体験・職場体験・修学旅行)
家庭学習の充実
夏休授業中の補習の充実および質問教室の実施
朝学活の時間の有効活用

自己指導力と自尊感情の育成

- ・合同支援会議を核とした生徒指導の充実(生活指導、生徒支援、特別支援教育)
- ・別室登校生徒への積極的な対応
- ・校内暴力・いじめ問題等への対応
- ・生徒のよさを認め、個々の強みを伸ばす実践
- ・生徒会の活性化 → challenge2「イキキ活動づくり」

児童生徒支援加配・生活指導主任
学校支援員による支援
心のオアシス相談員、県スクールカウンセラー
学校問題行動対策連絡会議(SPAC会議)の開催
ケース会議の開催
関係機関、保護者、地域との連携
委員会活動、生徒会行事の充実

たくましく生きるための健康づくりや体力向上の推進

- ・保健・安全教育の充実
- ・生涯体育としての基礎基本(体力・運動能力)の向上
- ・予防教育の充実
- ・生活習慣病への指導
- ・食育の啓発と推進
- 保健体育科・保健室経営の充実
- エイズ、薬物乱用についての教育
- 技術・家庭科・給食指導の充実
- 部活動推進と地域との連携

今年度:北中祭

- 1年……福祉体験学習
- 2年……職場体験学習
- 3年……修学旅行・沖縄レポート

【学校教育目標】

豊かな人間性と社会性を育み、知
徳体の調和のとれた、「自主協同」の
実践ができる生徒の育成

校訓: 自主協同

【めざす学校像】

学び合い 磨き合い 鍛え合う 活力ある学校

【めざす生徒像】

- 進んで学び、よく考える生徒(知)
- 互いに助け合い、磨き合う生徒(仁)
- 自らを鍛え、強く生き抜く生徒(勇)

【合い言葉】

共に育てる、共に育つ 野洲北中
～生徒とともに 保護者とともに 地域とともに～

【めざす教師像】

- ・生徒とともに汗を流すことのできる元氣な教師
- ・生徒一人ひとりを大切に、粘り強く指導を繰り返す温かさあふれる教師
- ・意欲的かつ団結して職務に取り組む教師
- ・全体の奉仕者として、使命感を自覚し、その職責の遂行に務める教師

平成27年度
校内研究全体計画

- 研究主題(テーマ)
個を活かす授業づくりの実践
～互いに認め合い、安心してできる学習集団の推進～
- 主な実践内容
・『二方向からの授業』から『双方向の授業
づくり』
・着目して考えることができる教室環境づくり
・視覚的・聴覚的支援、興味関心が感じら
れる授業づくり

総合的な学習の時間等

豊かな人間性や社会性を育む体験的学習の推進

開かれた学校
(正義感)

社会からの要請・地域からの要請
・信頼される学校
・安全・安心な学校
・社会規範 協力 思い合い
・危機管理)

人権教育や道徳教育を推進し、豊かな人間関係の育成

- ・道徳教育の推進
- ・「人権教育推進プラン」に基づく人権教育の推進
- ・男女共同参画社会の奨励
- ・心の成長や豊かな人間関係を育てる場と指導の工夫
→ challenge3「木カホカ集団づくり」

各種研修会への積極的参加
北中学校区研、床小連携の充実
人権学習の充実と日々の深化
いのちを学ぶ学習の場と内容の充実
人権や社会規範を大切にすることの育成

特別支援教育を推進し、個の特性に応じた教育の実施

- ・個別指導、支援計画の策定、見直し
- ・合同支援会議の充実と取り組みの進捗確認
- ・通常学級の特別支援の必要な生徒への対応
- ・特別支援教育を活かした授業改善
- ・市巡回相談の計画的な活用

特別支援教育コーディネーター
県スクールカウンセラー
心のオアシス相談員
スクールソーシャルワーカー(SSW)
学校支援員による支援
福祉・医療機関との連携
巡回相談による早期発見・早期対応

地域に信頼される学校づくりの推進

- ・安心・安全な学校づくり(危機管理意識の高揚)
- ・開かれた学校づくり(地域の人材、施設、教材の活用)
- ・情報管理の徹底
- ・情報発信と交流
- ・教師力を高める研修
- 防災教育の充実(学校防災委員会の設置)
- 学校評議委員会の充実
- 学校応援団事業の充実
- 学校応援団の管理と説明責任
- 個人情報保護の充実(各種通信の発行、HP更新)
- 授業研究会の充実と授業改善

- ・郷土の文化と伝統を生かした体験
- ・文化や芸術にふれあう体験
- ・自然、社会、人とふれあう体験